

第十九回高校生小論文コンクール

優秀作品の紹介

個人部門

● 沖永荘一博士記念大賞（最優秀賞）

「諦めないで努力すること」

福岡県立大川樟風高等学校 定時制1年

中釜 賢登さん

● 優秀賞

「医師になるために」

山口県立徳山高等学校 2年

福岡 萌希さん

グループ部門

● 優秀賞

「日本の医療費における問題」

学校法人久留米信愛女学院

久留米信愛女学院高等学校 1年

岩永彩香さん、堀川早那さん

● 優秀賞

「海洋ゴミについての考察」

インターアクトクラブの

環境保全活動について

学校法人永島学園

出雲西高等学校 2年

山田実果さん、影山雨音さん、

鳥屋尾柊貴さん、村本菜摘さん、

齋藤 耀さん

以上4作品を優秀作品として紹介します。

個人部門

沖永荘一博士記念大賞（最優秀賞）

福岡県立大川樟風高等学校 定時制1年

中釜 賢登さん

「諦めないで努力すること」

私は今年の春から定時制の高校生になった。現在、二十一歳の私は、二十歳を過ぎているのに、ともに漢字の読み書きや計算もできず、仕事の経験はあるけれど、基本的な知識がない自分を情けなく思った。そこで「高校へ行って学びたい」との思いがつのり、兄が通っている大川樟風高校定時制を受験し、入学することができた。

私が中学一年生の時、大切な親友が突然亡くなった。後になって親友は病気を患っていたことを知らされ、愕然とした。私にはかけがえのない存在だったので、喪失感でいっぱいになった。そのせいで教室に入れなくなり、授業も受けたくなくなり、保健室ですごすようになった。二年生になり、教室へ入れるようになったが、再び夏頃から学校を休みがちになり、三年生になっても数日しか登校できなかった。月日が経つ毎に、心にぽっかり穴が開いたような虚無感に包まれ、次第に気力が衰え、部屋に引きこもるようになった。中学卒業後、脱力感を抱いたまま就職し、欠勤しては仕事を辞め、職を転々とした。

そんな折、ハローワークの紹介を経て、ある木工所で職場実習をした。木材を梱包する時、他の人たちに合わせることでできなかったり、木材をまとめて運ぶ時、うまく結べなかったりと、失敗の連続だった。しかし、人と協力すると早く仕事が終わることに気づき、作業時のコミュニケーションがいかに大切か

を実感した。この体験を通して、人は失敗を重ねながら成長していくのだと学ぶことができた。

その後、私は心を入れ替え、今の木工所へ就職し、もうすぐ一年になる。朝八時から十七時五分まで週五日間、現在まで皆勤で働いている。今年の四月から学校と仕事の両立を始めたので、今までとは生活のリズムが一変した。学校と仕事の両立は体力的に厳しい日もあるが、高校も自分の意志で入学した以上、卒業まで皆勤でやり遂げるという覚悟で、気持ち奮い立たせている。

職場では主に材料を機械に通して切る作業や、商品の最後の仕上げなどを行っている。最近では上司からさまざまな仕事を任されるようになり、やりがいを感じている。しかし、最近まで同僚の中に苦手な方がいた。その男性は仕事中、毎日のように私のところへ来ては私の動作を真似して、嫌がらせをした。ある時、その男性の嫌がらせで、私は危うく機械だけがをしそうになった。人とのコミュニケーションが苦手な私は、その男性とはかわらないよう距離を置くことにした。

その後、作文の授業でそのことを書くと、先生が「どんな人が近寄ってきてても、明るい笑顔で挨拶を交わしてごらん」とアドバイスしてくださったので、翌日から早速、その男性に精一杯の笑顔で元気よく挨拶を試みた。すると、驚いた様子で私をチラッと見たが、そのまま去って行った。その日以来、笑顔で明るく挨拶を続けていると、いつしかその男性は私のところへ来なくなった。

これまで何も才能がなく、劣等感の塊だった私は、たくさんのかんことを諦めてきた。しかし、今回のことを通して、苦手なことからも逃げずに勇気を出して一歩前へ踏み出せば、現状を変えることができる、壁を乗り越えていけるということを学んだ。

また、六月に行われた校内生活体験発表会において、担任の先生から「出てみないか」

と声をかけられた時、「発表は苦手ですの
で」と一度はお断りした。すると先生は「苦手なことを克服する場所が定時制だよ」と言
って背中を押してくださった。私は勇気を出
して発表し、今回このステージに立つチャン
スを得ることができたと思っている。

約六年ぶりの学校生活は、ブランクがある
分、毎日ワクワクしている。アットホームな
定時制の環境のもと、新たな出会いに感謝し、
精一杯学業に励み、信頼できる友だちを作り、
一緒にたくさんさんの思い出をつくっていき
たい。苦しかった過去や今後の経験もすべて私の糧
とするために、なりたい自分をイメージし
ながら苦手なことにも挑戦し、諦めずに努力を
続け、克服して卒業したいと思っている。最
後に私のことを見守り、支え続けてくれるす
べての人々への感謝の心を忘れず、一日一日
を大切に生きていきたい。心の中にいる永遠
の親友とともに…。

（全文）

個人部門

優 秀 賞

山口県立徳山高等学校 2年

福岡 萌希さん

「医師になるために」

「おう！久しぶり！」そう言って明るく私に向けてくれた祖父の笑顔を、私は忘れないだろう。

私が中学生の頃、祖父は二度、脳梗塞で倒れた。初めてその連絡を聞いた時、とても信じられなかった。つい最近まで元気だった祖父が急に倒れたなんて。今まで感じたことのない「死」に対する恐怖と不安が私を襲った。祖父は明日も生きているだろうか。心配で眠れない夜もあった。

祖父は手術を受けることになった。脳に関する難しい手術の特集をテレビで見たことがあったので、失敗したら祖父は…という不安でいっぱいだった。

手術は無事成功した。左半身に少し麻痺は残ったものの、リハビリによって日常生活を十分に送れるほどまで回復した。手術後、元氣な祖父に会った時の感動と安心、そして冒頭で書いた、祖父の明るい笑顔を今でも鮮明に覚えている。私は、その時、祖父の強い生命力に感激すると同時に、生死の間をさまよっていた祖父を救ってくれた脳外科の医師に心から感謝した。そして、私も人の命を救い、元通りの生活と笑顔を与えられる医師になりたいと強く思った。

医師になるには何が必要か。技術や知識はもちろん必要だ。しかしそれだけでは医師にはなれない。まず、冷静かつ的確な判断力が必要だと思う。一分一秒を争う医療現場において、緊迫した状況の中でも素早く正確な判断、そして行動ができなければならない。私の母は脳外科で看護師をしていたのだが、時

にはとてもつらい決断を迫られることもあると教えてくれた。

次に、人間の尊厳を守る意思。これを守るためにはコミュニケーション能力が必要不可欠だろう。患者やその家族との信頼関係を築き、その意思を汲みとった医療でなければ、それは医療とはいえない。患者やその家族と向き合い、意思疎通し、同じ方向を向いて治療をしていくのが医師の役目だと思う。

高校生である今、医療に関する知識をつけることはもちろん、次の三つのことを意識して行動していきたいと私は思う。

一つめは、周囲の意見ばかりに流されないことだ。「チーム医療」といわれるように、現代の医療は、患者やその家族とのコミュニケーションだけでなく、他の医師や看護師など仲間とのコミュニケーションも重要となってくる。一人の医師として正しい判断を下すために、時には自分の意見を通さなくてはならないこともあるだろう。集団の中でも「自分」をしっかり持ち、自分の意見を相手にわかりやすく、端的に伝えられるようになりたい。

二つめは、周囲の意見を聞き、それについて考え、仲間とのコミュニケーションを図ることだ。周囲の人の意見を聞く時は、主観が入りがちだが、主観が入ってしまったては、正確な判断ができなくなってしまう場合もある。物事をいろいろな視点から捉えられる能力も医師に必要な力のひとつだと私は思う。物事を客観的な視点で捉え、その意見を自分の中に取り入れ、よりよいものにしていく力を今のうちからつけていきたいと思う。

三つめは、メンタルを強くすることだ。医療現場は常に死と隣り合わせだ。医師という仕事をやっていく限り、死と直面することもあるだろう。患者の家族に「なんで助けてくれなかったんだ」と怒鳴られることもあるかもしれない。そんな中でも命と向き合い続けられる心の強さが必要だと思う。一人の独立

した人間として、簡単に折れないメンタルの強さを身につけていきたい。

この三つのことを意識して、残りの高校生活をより充実したものにし、医師にふさわしい人間の土台を作っていきたい。医師としてそしてひとりの人間として、患者の身体だけでなく心にも寄り添える医師になりたい。将来は多くのかけがえのない命を救い、祖父や私たち家族のようにたくさんの人を笑顔にしたい。

（全文）

グループ部門

優秀賞

学校法人久留米信愛女学院

久留米信愛女学院高等学校 1年

堀川早那さん

岩永彩香さん

「日本の医療費における問題」

はじめに

このテーマについて調べようと思った理由は、昨年2016年のマスメディアに「医療費ついに40兆円突破」という見出しがあるのを見て、医療費とは一人あたりどのくらいかかっているのか、医療費に必要なお金を少しでも減らすことはできないのかと思い始めたからである。

また、日本では医療費のうち、薬代である薬剤費が多く割合を占めるにもかかわらず、服用を忘れるなどして飲み残された薬、すなわち残薬などの理由により無駄になっているお金が非常に多く、その無駄になっているお金が「みんなのお金」、つまり税金であるという問題を知り、その無駄を解決する方法がないのかと思ったため、今回の解決策においては薬剤費を削減できるような策を中心に考えてみた。

日本の医療制度

現代の日本には保険診療という制度がある。その仕組みについて説明する。

- ①被保険者（患者）が医療保険者に対し、保険料（掛金）の支払いをしておく。
- ②保健医療機関（病院・診療所・調剤薬局等）が被保険者に診療サービスを行う。
- ③被保険者が保険医療機関に、一部負担金の支払いをする。
- ④保険医療機関が審査支払機関（社会保険

診療報酬支払基金・国民健康保険団体連合会）に診療報酬の請求をする。

⑤審査支払機関が医療保険者に、審査済みの請求書を送付する。

⑥医療保険者が審査支払機関に対し、請求金額の支払いをする。

⑦審査支払機関が保険医療機関に対し、診療報酬の支払いをする。

日本の保険診療の仕組みは以上のように成り立っている。ここで、③の傍線部に注目していただきたい。「一部負担金の支払いをする」とあるが、一部とはいったいどのくらいなのか。これは国で年齢別に割合が算定されている。

1. 3歳に達する日の属する月の翌月以降であつて、70歳に達する日の属する月以前である場合：三割

2. 3歳に達する日の属する月以前である場合：2割

3. 70歳に達する日の属する月の翌月以後である場合（次号に掲げる場合を除く）：1割

4. 70歳に達する日の属する月の翌月以後である場合であつて、当該療養の給付を受ける者の属する世帯に属する被保険者（3に該当する者、その他政令で定める者に限る）について政令の定めるところにより算定した所得の額が政令で定める額以上である場合：3割

難しいが、以上のように定められた割合の額を、医療サービスを受けた医療機関の窓口で払うことになっている。しかし、国民が払う医療費の割合が少ない分、国が出す医療費の割合が増えるため、財政がだんだんと赤字になり財政圧迫が起きたことが問題点の一つとしてあげられる。

海外の医療事情

まず、世界一医療費が高いといわれている

アメリカのワシントンD.C.では、2014年4月から、Affordable Care Act（国民皆保険を目指す医療改革法）が施行され、無保険者の数は減少したといわれているが、一方で増大する医療費の抑制のためにさまざまな規制がなされ、高い水準にある米国の医学が生かされていない面もある。また、医療訴訟が多いため、訴訟に備えて医師や病院側が支払う高額な損害賠償保険料は、医療従事者への高い人件費とあいまってそのまま医療費の増大に反映されている。

次に、同じくアメリカのハワイ州・ホノルルでは、医療事情・医療水準は良好であるが、救急車の利用・医療機関の受診方法などにおいて日本と異なる点がある。例えば、救急車を利用する際には、911に連絡するのだが、日本と異なり、救急車の利用は有料となる。救急車内での処置レベルによって料金は異なるのだが、2014年では移送だけで375ドル、高度な救急処置が必要な場合は450ドルなどと料金に幅がある。

また、医療費は日本に比べ非常に高額で、ICUへの入院や手術となると1千万円を超えることも多々ある。

アメリカは社会保障費が充実しておらず、すべて自費のため、税金は別のところに使っていると考えられる。また、医療費が高いために、受けられる医療行為に関して貧富の差が大きく、お金のない人たちは病院にかかることすらできない。

一方、世界一医療費が安いといわれているノルウェーでは、20歳未満の場合、医療費（診療費・治療費・手術代など）は無料²⁶。歳以上の場合でも年間900クローネ（約1万円）までは支払うものの、それ以上の医療費は無料となる。

ノルウェーでは、先に述べた通り医療費は比較的安いが、その分税金が非常に高い。

今まで述べたように、海外では、税金を医療費ではない事柄に使用しているため、医療

費が非常に高額であったり、医療費は安い税金が非常に高かったりと、その国独特のさまざまな制度があるが、日本ではどうだろうか。

日本での問題点

日本の税金はノルウェーほど高くはないが、低いわけでもない。しかし、同じように、医療費もアメリカほど高額ではないが、決して安いわけでもない。一見ちやうどよく見えるが、税金をあてているのは医療費だけではない。近年、日本政府が税金を徐々に高くしているのはなぜか。それは、今、納められている税金では足りなくなってきたからである。では、なぜ、足りなくなっているのだろうか。高齢者の増加や急激な少子化なども考えられるが、税金が無駄に使用されていることも理由の一つとして考えられる。

医療費の視点で見ると、特に薬剤費に関しては多額の税金が使われているにも関わらず、その半分くらいといっていいほどの多くのお金が無駄になっている。その一番の原因が薬剤によるものである。日本は高齢化社会であるため病院を利用するのも高齢者が多い。高齢者は、処方された薬の飲み忘れなど薬の管理不足のため、自宅に同じ薬を大量に放置している方も多いといわれている。この残薬による税金の無駄は非常に大きな問題である。

現在日本で進められている対策

ここで一つ、最近広まりつつある対策を紹介しておきたい。「節薬バッグ運動」である。これは、福岡市薬剤師会と九州大学とが連携し、2012年から福岡市を中心に始められた運動である。これは、まず患者に“節薬エコバッグ”というバッグを無料で配布し、その中に家庭で残っているすべての薬を入れて薬局に持参してもらう。そこで、薬局薬剤師が残薬を調査したうえで医師と相談し、次の処方数量を調整する。残薬を有効活用して医

療費の削減に貢献することを狙いとした運動である。

この運動を開始した1年後の2013年には、薬剤費を約2割削減できたことがわかり、膨らむ一方の国の医療費抑制にもつながる取り組みとして、各地の医療関係者から注目を集めている。今は、全国に拡大していくことを視野に活動しているそうだ。

おわりに

私たちが考えた解決策をいくつか挙げる。一つめは「お薬手帳」の所持を義務づけること。現在は義務づけられておらず、この手帳を持っている人は少ない。薬の管理をするのに便利なこの手帳は、皆持つておくべきだと思う。自分でも薬の管理をすることで、少しでも医療費削減に貢献できるかもしれない。二つめは、残薬の管理を徹底すること。前に述べた「節薬バッグ運動」をいかに早く全国に広めるかということも重要である。やはり、税金が無駄になる大きな原因である残薬を減らすことが、医療費削減への一番の近道だと考えられる。

最後に、このような解決策はどんな周りに呼びかけてほしいと思う。より多くの人々に知っていただき、協力してもらえる環境を作っていきたい。また、一人ひとりにはセルフメディケーションを充実させてもらいたい。セルフメディケーションとは、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすることを意味する。このセルフメディケーションを充実させることによって、毎日の健康管理の習慣や医療・薬の知識が身につき、通院を減らすことができる。一人ひとりが気にかけることで、医療費は必ず減らすことができると思われる。一刻も早く税金の無駄がなくなることを願う。

（全文）

グループ部門
優秀賞

学校法人永島学園

出雲西高等学校 2年

山田実果さん
齋藤 耀さん
鳥屋尾柊貴さん
村本菜摘さん
影山雨音さん

「海洋ゴミについての考察」

「インターアクトクラブの

環境保全活動について」

インターアクトクラブについて

出雲西高校インターアクトクラブは①国際奉仕②地域奉仕③環境保全活動を3本の柱として活動している。創部51年目、部員数35名。今回はインターアクトクラブの活動の中心である海岸清掃について考えたことを述べたいと思う。海岸清掃は、インターアクトクラブが40年来行っている活動である。

海岸清掃について

インターアクトクラブは年間5回海岸清掃を行っている。場所は、出雲市の①くにびき海岸②稲佐の浜③湊原海岸④日御碕海岸⑤ひろげ浜などである。清掃を行ってみると日本のゴミだけでなく、海外（特に韓国、北朝鮮、

中国）のゴミが %もあり、私たちは何とか海外からのゴミを減らすために、韓国高校生との交流会を7年にわたり行い、ゴミを減らすための討論会も行っている。この論文はその時の私たちの日韓交流のまとめである。

ゴミの種類について

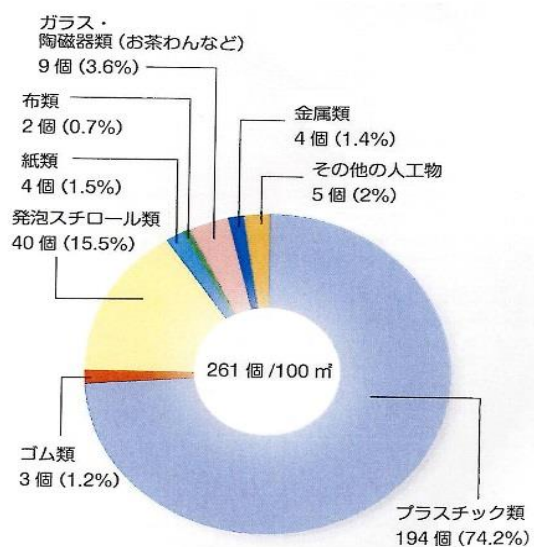
(1) 大別して3種類

海岸ゴミとは、海や海岸にあるゴミのことをいい、大別すると①海上や海中に浮遊する「漂流ゴミ」、②海底に沈みこんだ「海底ゴミ」そして③海岸にたどり着いた「漂着ゴミ」の、3つの種類に分けられる。

ゴミが分解されるまでの時間

品 物	年 数
プラスチックボトル	450 年
アルミ缶	80～200 年
ブイ（発泡スチロール）	80 年
ブリキ缶	50～80 年
スチロールのカップ	50 年
プラスチックの袋	10～20 年
りんごの芯	2 か月
オレンジやバナナの皮	2～5 週間

出典：The Ocean Conservancy



100㎡あたりの漂着ゴミ平均個数
(10年間2006～2015年平均)

出典：The Ocean Conservancy

(2) 海岸ゴミの原因

海岸ゴミの原因はさまざまである。海や海岸に直接捨てられたものや、陸上で捨てられたものが雨や風によって川に入りこみ、海に流れ出たものがある。海外ゴミの中でも特に海岸に流れついたゴミが問題になっているが、そのほとんどが陸上で捨てられたものである。

(3) どんな種類のゴミがあるか

日本の海岸では、プラスチック類がもっとも多く見つかっている。プラスチックゴミは「マイクロプラスチック」という微小なプラスチック粒子による汚染である。日常生活で使うペットボトルや包装などのプラスチックゴミが海を漂ううちに紫外線や波で壊れて細かい粒子になったものを指す。毎年、世界の海に流れこむプラスチックゴミの量は、800万～1千万トンにも上っている。特にマ



韓国の高校生との交流会(7年目) 海岸清掃



稲佐の浜、くにびき海岸などを中心に

イクロプラスチックの粒子を魚や鳥が餌と間違えて食べたり、海水と一緒に貝の中に取りこまれたりして、生態系に悪影響を及ぼし、それを食べる人間にも危険が及ぶ可能性も大である。レジ袋などの使い捨て製品の使用を禁じる国や自治体が増えているが、プラスチックゴミ対策については十分とはいえない現状である。マイクロプラスチックは、プランクトンのように微細で、世界での統計では、33万個／平方キロメートルでプランクトンの6倍になるといわれている。



資料提供：島根県庁廃棄物対策課より

漂着ゴミの量はどれくらいか

1年間に日本海岸全体に流れ着くゴミの量は、どれくらいか統計を見てみると、環境省やNPEC（公益財団法人環日本海環境協力センター）などの調べによると、約19万トン（2010年の結果より）と推定される。これは、体積が約63万／立方メートルで東京ドームの2分の1という量である。ゴミがたくさん流れつくと回収や処理が大変であり、島根県庁の廃棄物対策課の方に聞くと、島根県だけでも年間2億円の処理費がかかり、海外からのゴミ処理費用だけで約1億円かかるという状況である。

海岸ゴミ、人の健康や安全に対する影響

大まかに海洋ゴミは次の5つに大別できる。
①電球や蛍光灯などガラス製品によってけがをすることがある。ビールびんやウイスキーのびんなどが割れたものも散乱しており、

砂浜を裸足で歩く海水浴客は注意が必要である。

②廃ポリタンクは、中に悪臭のする液体などが入っており、人体に悪影響を及ぼす可能性がある。なので危険である。

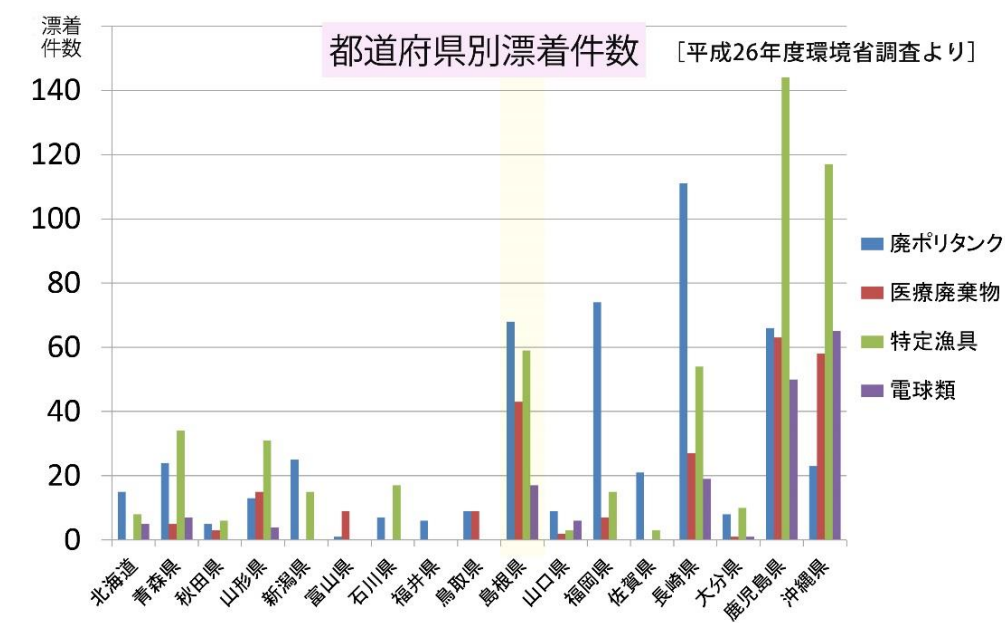
③インターアクトクラブの部員が、海岸清掃をしていると、時々医療系廃棄物である注射器や点滴の器具を見つけたことがある。中国製のものが多く、後輩たちに触らないよう注意を呼びかけている。不用意に触れてしまうとウイルス性の肝炎など感染症にかかることもあるため実に危険である。

④ゴーストフィッシングの影響。水中に放出・廃棄・投棄された漁具により、長期間にわたって魚介類や海洋生物が捕獲されそのまま出られず死んでしまう現象のことをゴーストフィッシングといい、海の生物への大きな危害になる。ある日本の漁師の話では「中国や韓国、北朝鮮の漁師は、網や漁具が破れたり、壊れたりすると、そのまま海に投げ捨てる人が多い。日本の漁師はそんなことはしないよ」と話してくれた。やはり、マナーの問題であると思う。たしかに島根半島に流れつくゴミの中で魚網、漁具は海外のものが多く、また⑤放置釣具。釣り糸や釣り針がからまったウミネコの姿を見ることがあるように、釣りをする人もマナーを守り、釣り糸や釣り針をきちんと持って帰り、放置しないというルールを守るべきだと思う。

景観や人の活動への影響

日本海岸は、ゴミでいっぱいである。図の都道府県別漂着件数を見ると、ゴミの漂着数は、1位が鹿児島県。2位が沖縄県。3位が長崎県。4位が福岡県。5位が島根県である。このように九州、沖縄を除けば、島根県は日本海側では第1位の漂着ゴミの多い県である。

最近、夏になると海水浴を楽しむ客も年々減っている。海のある県であるにもかかわら



る」という声もあり、海水浴は不評である。島根県は、美しい湖（宍道湖、中海）そして、島根半島の風光明媚な海岸を持っている。それなのに海水浴ができないというのは実に残念である。

日韓交流会の意見から

そこで韓国的高校生と私たちインターアクトクラブの部員で、海岸のゴミの問題をどう解決すべきか話し合ってまとめてみた。すると次のような意見が出た。

①ゴミのポイ捨てをしない。また海岸にゴミ箱を設置する。欧州などは、海岸に必ずゴミ箱があるそうだ。ゴミを持ち帰るのもよいが、きちんと分別してゴミ箱に入れる習慣をつけるのもよいのではないかという意見が多かった。

ず出雲市の巨大プール『ゆうプラザ』を利用する客が倍増している。その理由に「海岸での海水浴は、ゴミが多くて嫌だ。不潔な感じがす

②海や川、身近な場所をきれいにする。川が汚れていることが多いので、川から海に流出するゴミも多い。とにかく、ゴミを安易に海や川に捨てないことが重要である。

③海岸ゴミに関する調査や学習に参加して、海岸ゴミの問題について考える。小学生は、海岸清掃をしたり、船に乗って調査したりしているが、中学生、高校生になるとそのような活動をしなくなる。中高生であっても体験学習をするべきだという意見が出た。学習指導案にも環境教育の内容を入れるべきだという意見もあった。

④「捨てない」「きれいにしよう」「考えよう」をみんなに広めようという意見が出た。SNSなどを利用して口コミで、友だちみんなにも広めていこう。みんなで海岸清掃する機会を作ろうなどという意見もでた。すると韓国的高校生たちも「出雲西高のインターアクトクラブが海岸清掃をがんばっているのだから、自分たちもやる」と言ってくれた。

また、海岸にゴミを捨てない、海外をきれいにする活動をするというような前向きな発言をしてくれた参加者もいて、とてもよい交流会になり、さらには韓国のマスコミにも海岸ゴミのことを訴え、キャンペーンもやっていきたいと建設的な意見が出て、とても盛り上がった。私たちインターアクトクラブ一同、今回の交流会を一つの前進的な材料としてとらえ、さらに環境保全活動に邁進していきたいと思う。



出雲西高校での日韓交流会の様子

また、3 R（スリー
アール）活動に取り組
む必要性があるという
意見も出た。3 Rとは
① R（リデュース）ゴ
ミを減らす② R（リユ
ース）使えるものはく
り返し使う③ R（リサ
イクル）ゴミとして出
さないで資源として再
利用するという運動で
あるが、この3 R運動
も私たちの活動の基本
として認識し、さらに
環境保全の活動を続け
ていきたいと思う。

（全文）



日韓交流会記念写真（出雲西高校にて）